

事業所名	放課後等デイサービス めい	支援プログラム	作成日	7年 10月 29日
法人（事業所）理念	すべてのお子さまに未来を生き抜く力を育む場所です。遊びや学びを通して自己肯定感や社会性を育て、未来に向かって自信をもって進む力を育みます。支援は切れ目なく続き、明日への希望と成長をサポートします。			
支援方針	お子さま一人ひとりが学びに向かう力を育めるよう、からだを使う活動を行います。それぞれのお子さまに合った学習のための基盤となる力を育んでいきます。得意なことや楽しめる活動を通して意欲や自信を育みます。支援プログラムは、お子さまの特性や発達の状況を踏まえた個別支援計画に基づき、オーダーメイドで実施します。他の療育・保育・教育機関との連携を大切にします。			
営業時間	月～金 14時30分から17時0分まで 土 13時0分から15時30分まで	送迎実施の有無	なし	
	支 援 内 容			
健康・生活	日常生活に必要な基本的動作や生活習慣の自立を目指し、お子さまが安心して過ごせるよう環境設定を行います。健康状態をこまめに確認し、必要に応じて適切に対応します。意思表示が難しいお子さまにも配慮し、小さな変化やサインを見逃さないよう丁寧に観察します。			
運動・感覚	体を動かす力は、姿勢を保ったり、力加減を調整したりするための基礎となります。バランスあそびやボール運動などを通して、全身の協調性や体の使い方を身につけ、自分の動きをコントロールする力を育てます。触覚や体の位置、動きを感じ取る力は、安心して活動するための大切な土台です。さまざまな感覚刺激を経験することで、心身の調整力が高まり、落ち着いて課題に取り組む姿勢が育ちます。こうした運動や感覚の支援を通して、学習や生活の安定へとつなげていきます。			
認知・行動	状況を理解し、自分の行動や気持ちを整えることは、安心して生活するための大切な力です。活動の順番や目的を言葉で伝え、「今から何をするのか」「終わったらどうするのか」を確認しながら、見通しをもって行動できるよう支援します。また、困ったときに助けを求める、気持ちを言葉で伝える、うまくできた経験を共有するなどのやりとりを通して、自分の行動をコントロールする力や自己理解を育てます。こうした力の積み重ねが、学習や集団生活の中で自分らしく行動する力へとつながります。			
本人支援 言語 コミュニケーション	人との関わりや学習の土台となる力を育てるため、日常のやりとりや会話を通して、自分の気持ちや考えを言葉で伝える経験を重ねます。ひらがなの読み、アナグラム（単語づくり）、文字で書かれた指示の理解を通して、特性に合わせてひらがなの読み書き、単語や文章の意味理解などを高めることと並行して感覚を入れながら、読み書き能力の向上を目指します。また発達支援リトミックなど音やリズムを取り入れた活動では、聴く力や表現する力、感情の調整力を育てます。音の刺激は安心感や意欲を引き出し、心と発達を支えます。こうした支援が他者とのつながりや学習への意欲につながっていきます。			
人間関係 社会性	人と関わる力や社会性は、集団の中で安心して過ごし、自分の気持ちを適切に表現するために大切な力です。タイムタイマーやスケジュールの理解、自分の感情や困りごとを整理する課題を通して、気持ちや行動のコントロールを促します。ルールを守り、見通しをもって活動する経験を重ねることで、協調性を育てます。お子さまの気持ちに寄り添いながら、相手の考えを受けとめることや、自分の気持ちを伝える方法をサポートします。こうした経験の積み重ねが、安心できる人間関係を築き、社会の中で自分らしく過ごす力へとつながっていきます。			
家族支援	定期的なご家族へのフィードバックや、ご家庭での課題の共有をします。	移行支援	学校や医療・福祉機関などと連携し切れ目のない支援が行える環境を整えます。また、保育所・こども園（幼稚園）や地域とのつながりを大切にし、支援体制の構築を行います。	
地域支援・地域連携	地域生活に関する保健・医療・福祉・教育等の関係機関、障害福祉サービス事業所等との連携を行います。	職員の質の向上	職員間で支援の一貫性を保ち、必要に応じて改善が行われるよう、お子さまの様子や支援方法を日々共有・検討します。職員が分野別の外部研修へ積極的に参加します。さらに、以下の社内研修を実施します。虐待防止／身体拘束等の適正化／感染症予防及びまん延防止／業務継続計画／安全計画	
主な行事等	季節の行事・音楽に関するイベント・感触あそび・地域交流イベント・避難訓練			